

# 議会だより

No. **167**

2014  
February



## 目次 CONTENTS

- ◆12月定例議会で決められた概要……………2～5
- ◆閉会中における所管事務調査報告……………5
- ◆意見書・決議……………6
- ◆一般質問……………7～12
- ◆その他……………13

## 12月定例議会

# 指定管理者の指定について

# 6議案が原案可決！

当町における公の施設のうち、おもちゃ博物館をはじめとする6施設については、地方自治法の改正により指定管理者制度が創設されたことに伴い、平成18年度から本制度を導入し管理運営がなされているが、本年度末をもって指定管理期間が終了することから、次期指定管理者の指定についての議案が上程された。

議案は、指定管理者制度検討委員会での議論をふまえ、公募によらない候補者としてそれぞれ現在の指定管理者を継続して選定したが、指定管理者の公募をさらに推し進めるという観点から、今期の指定管理期間は平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間とした。

本会議での質疑応答の末、各施設とも全会一致で原案可決となった。（各施設の指定先については、以下の一覧参照）

施設	指定者
壬生町就労支援施設むつみの森	社会福祉法人壬生町社会福祉協議会
壬生町シルバーワークプラザ	公益社団法人 壬生町シルバー人材センター
壬生町こども発達支援センター ドリームキッズ	社会福祉法人壬生町社会福祉協議会
壬生町おもちゃ博物館	一般財団法人壬生町施設振興公社
壬生町都市公園	一般財団法人壬生町施設振興公社
壬生町嘉陽が丘ふれあい広場	一般財団法人壬生町施設振興公社



**問** 今回公募によらなかつた理由は。

**副町長** 長年にわたつて業務を委託していた経過の中で、その事業に対するノウハウもあり、一般の企業・団体よりは内容を熟知しており、町民サービスの向上につながるということです。また公募への準備期間として間違いなく進めるために、2年間という短い期間を設定させていただきました。

**問** これからの2年間でどのようにして公募への準備を進めるのか。

**副町長** 団体のあり方について原点から検討し、現在の指定管理者が一般の企業の皆さんと公募で競うことができるかどうか、もし外れた場合どうなるのかなど、現職員の将来についても十分配慮しつつ検討していきます。

**問** 現在の職員数は。

**副町長** 施設振興公社はプロパー、臨時、嘱託職員合わせて17名。社会福祉協議会関係では、むつみの森が同じく10名。ドリームキッズは嘱託職員と臨時職員で4名。シルバー人材センターは、プロパー1名、嘱託職員3名です。

**問** 公募の進め方について、方向性や範囲は。

**副町長** 例えば公社あるいは社協を生かした公募の仕方等、お願いの仕方、そういうものも含めて、色々な角度から時間をかけて検討していきたいと思っています。

**問** どのような方法が一番町民の利益になるかという議論が必要では。

**副町長** サービス向上や経費の節減が、すべて町民の皆様へかえっていくという認識で考えていきます。

**問** ドリームキッズには臨床心理士あるいは特別支援教育の教員免許をお持ちの方がいるのか。デイサービスは全学年が対象か。むつみの森には経験スタッフがいるのか。おもちゃ博物館には専門的スタッフはいるのか。

**こども未来課長** 専門職の配置について、ドリームキッズは、常勤の臨時保育士及び随時専門職の方においていただいています。放課後デイサービスにおきましては小学6年生まで実施しております。**健康福祉課長** むつみの森では、施設長は、施設長となるための研修を受けて対応しております。

**商工観光課長** おもちゃ博物館には障がい者にも健常者にも遊べる玩具のコーナーに、説明できる資格を持った職員が1人おります。



平成25年度 **補正予算** (平成25年12月定例会可決) (単位：千円)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計	3,573	11,758,922	事務事業の精査による過不足、国県補助事業の確定によるもの、施設管理運営のため緊急を要する修繕、電気料の値上げによる不足などの対応によるもの。
国民健康保険	19,561	5,106,218	国・県負担金の交付決定及び拠出金額の決定、事業実績の確定などによるもの。
公共下水道事業	△14,853	1,818,145	建設事業の実施見込みによる減額、施設の維持管理に要する費用などによるもの。
介護保険事業	366	2,540,084	一般管理費、償還金及び還付加算金に不足が生じるもの。
後期高齢者医療	12,865	346,031	保険料収入の見込額の精査によるもの。

## 人事案件

### 教育委員会教育委員

平成25年12月22日に任期満了となる藍田 收氏（壬生町城内）の再任に同意しました。



## 陳情の審査結果 (12月定例議会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。)

### ○採択になったもの

#### 陳情第4号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情書

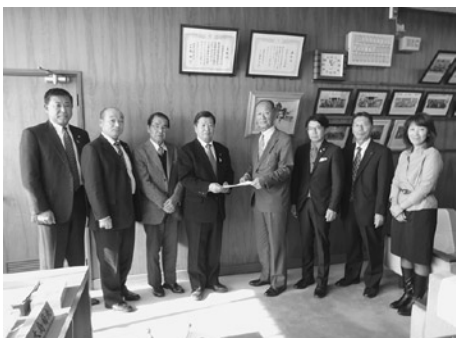
提出者・・・壬生町大字安塚791-11 読売新聞 柿塚新聞店 代表 柿塚 由成  
 壬生町緑町2-11-6 朝日新聞 笹崎新聞店 代表 笹崎孝太郎  
 壬生町大字安塚1168-57 毎日新聞 瀬谷新聞店 代表 瀬谷 一世  
 壬生町本丸2-20-29 読売新聞 長新聞店 長 弘美

### 議会活性化の答申をする

議会運営委員会では、地方分権の進展や社会の多様化により、地方議会として本来の役割を果たすために必要な改革推進のため、平成24年10月9日に議長から議会活性化についての諮問を受けました。

そこで、議会の活性化の方策について、精力的に議論を重ね、壬生町議会災害対策本部設置要領の制定、議案審議方法については、条例の制定を所管常任委員会付託としました。また、開かれた議会を目指し、「議会だより」の掲載内容の刷新をしました。

今後におきましては、さらに開かれた議会を目指し、町民の意見を的確に把握するための方法や、継続して活性化の方策を追求して議論を重ね取り組むことなどの取り組みを、平成25年12月3日に議長へ答申いたしました。



## (新たな取り組み) 常任委員会付託

### 条例の制定及び補正予算

#### ★「みぶ羽生田産業団地」における

#### 緑地面積率の優遇措置

#### ★補正予算の常任委員会付託

みぶ羽生田産業団地が「企業立地重点促進区域」及び「工場立地法の特例措置を実施しようとする区域」に位置づけられました。そこで法の特例を活用し、緑地面積率及び環境施設面積率の緩和を図るための「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定」が上程され全会一致で可決されました。

補正予算については、詳細に審議するため、常任委員会に付託し、各事業の補正の理由について説明を求め、一般会計の補正予算では固定資産税の歳入増、こども子育て支援新システム導入、土木費関係の予算の減額要因等について質疑し、確認しました。

採決の結果、一般会計補正予算(第3号)決議、国民健康保険特別会計補正予算(第2号)決議、公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)決議、介護保険事業特別会計補正予算(第2号)決議、後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)決議について、各常任委員会の所管事項について採決の結果全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

12月定例議会初日、本会議において、常任委員長が報告をいたしました。

## 閉会中における所管事務調査報告

### 建設経済常任委員会

農政課所管の「地域特産物推進事業」についての調査は事業説明と現地調査に分けて行いました。事業名「地域特産物推進事業によるトマト選果機導入」

事業主体 施行代行者として「全国農業協同組合連合会 栃木県本部」  
設置場所 JAしもつけ壬生営農経済センター

補助を受ける団体 壬生トマト部会 生産者

概要事業費は2億円で補助金は国50%、町10%で町補助金は1,951万4千円

競争入札により、シブヤ精機(株)が1億3,480万円で落札。10月末に機械完備となり、11月28日竣工式を行いました。

生産者は19名で耕作面積は約6・7ha 生産品種は「麗容」です。

出荷先は仙台地区5割、京浜地区2割、宇都宮地区2割、その他1割です。

生産高は旧選果機選別分のみでは、平成25年度は1,016tで3億1,742万9千円ですが、新選果機の導入により生産高の伸びが期待され

るところです。

質疑応答では、機械導入により向上したことについては、外部品質センサーカメラにより品質・等級の選別ができ、検査員の労力の軽減、内部品質センサーによりすべての玉の糖度測定が可能となり、箱の折込みから最後の出荷梱包まで確実に処理出来ます。処理能力は、1時間あたり21,600個ですとの説明でした。現地調査では、センター課長より説明を受け新鋭機の稼働状況を実体験し、高性能に委員一同感激しました。





# 意見書・決議

12月定例会において、議員提出の意見書を1件可決し、関係機関へ提出しました。また、決議1件についても可決しました。

## 新聞の軽減税率を求めめる意見書（要旨）

提出者	壬生町議会議員	坂田	昇一
賛成者	壬生町議会議員	高山	文雄
〃	〃	中川	芳夫
〃	〃	小貫	暁
〃	〃	鈴木	理夫

新聞販売店は、「国民の知的インフラとしての新聞を毎朝届けることで国力の維持に貢献している」という誇りを持ち、個別配達制度を維持することで、国民の政治的・社会的関心を喚起し続けることが使命と考え、日々の仕事に取り組んでいます。

来年4月に予定されている消費税増税によって各家庭の経済的負担が増せば、民主主義を支える社会基盤である新聞の購読を中止する家庭が増えることを懸念します。

特に社会的・経済的弱者にその傾向が出た場合は格差が拡大し、社会的不安を招きます。

また、新聞販売店の経営が大幅に悪化すれば、全国36万人超の販売店スタッフの雇用場が失われる可能性があります。

政府は消費税アップに例外は作りたくないと考えているようですが、多くの国では品目別の複数税率が導入されています。そして民主主義という観点での先進国では、以前より新聞、書籍などに軽減税率を適用しています。よって、左記の事項の実現を強く要望します。

記

- 一、消費税増税にあたり複数税率を導入すること
- 一、新聞への軽減税率を適用すること

## 特殊詐欺を撲滅し、町民生活の安全・安心を確保する決議

提出者	壬生町議会議員	市川	義夫
賛成者	壬生町議会議員	小貫	暁
〃	〃	細井	敬一
〃	〃	落合	誠記
〃	〃	鈴木	理夫

平成15年頃から多発しているオレオレ詐欺等のいわゆる特殊詐欺は、近年、全国的に急増し、国民の生活を脅かす大きな社会問題となっている。

昨年1年間の特殊詐欺による被害は、全国では8693件、被害総額約364億円となっており、県内においては、99件、被害総額約5億5千万円に達している。

本年は更に激増し、県内において、11月末現在で200件、被害総額約10億にのぼっており、また、直接被害に遭っていないものの、特殊詐欺に関する相談件数が既に2千件を超えるなど、今後更なる被害の拡大が懸念される。

安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現は、町民

すべての願いであり、町民の負託を受けた我々の重大な責務である。

特殊詐欺は、人々の不安につけ込み、家族への愛情を悪用して町民の財産を奪う卑劣な犯罪であり、特に抵抗する力の弱い高齢者や女性を標的にするなど決して許すことはできない。

特殊詐欺を撲滅するには、「特殊詐欺は絶対に許さない」という強い意志のもとに、町における広報啓発活動、相談体制の充実及び自主防犯活動に対する支援、金融機関窓口における積極的な声かけ等による水際阻止、事業者による犯罪情報の提供協力、地域・家族におけるきずなの醸成、町民一人ひとりの防犯意識の高揚等、あらゆる施策について社会総掛りで取り組んでいく必要がある。

よって、本町議会は、町民生活の安全・安心を確保する立場から、壬生町をはじめ関係機関・団体と連携を強化し、町民と一体となって特殊詐欺撲滅を目標して全力で取り組んでいくことを決意する。

以上、決議する。

# 一般質問

## 地

### 域会議での要望 町の対応は

#### 町長 各種施策事業に生かしてまいります



玉田 秀夫 議員

「こんにちは赤ちゃん事業」について

**問** 平成25年度の支給件数は。

**民生部長** 平成25年4月から10月末までの交付申請に基づく支給件数は171件となっております。

**問** 昭和60年の初産平均年齢は26・7歳でした。平成24年度の初産件数と初産年齢は。

**民生部長** 初産件数は72件であり、初産年齢は20歳代から40歳代まで幅がありますが、平均初産年齢は29・5歳となっております。

**問** 参加者からの意見・要望の内容はどのような傾向でしたか。

**地域会議「タウンミーティング」について**

**問** 参加者からの意見・要望の内容はどのような傾向でしたか。

**町長** 生活道路や幹線道路を問わず道路整備に関するご意見等が一番多く、小・中学校の児童・生徒にかかわる学力向上や通学時における安全確保の問題などのご意見等も多くいただいております。

**問** この地域会議は毎年行うのか。

**生活環境課長** 次回の開催時には開催時間等少し改善をさせていただきまして、取り組んでまいりたいと思っております。

**町長** しっかりと受けとめまして、各種施策事業に生かしてまいります。

**生活環境課長** その案件の必要性、重要性または緊急性、その

**民生部長** 少子化対策や定住化、後継者の育成支援など町発展に寄与するものと認め、平成24年度から運営補助団体としてその活動を支援しているところでございます。

**問** 開催内容及び参加数とカップル成立組数は。

**民生部長** 平成24年度は男女の出会いの場となる黄色いハンカチパーティーが2回開催されており、第1回目が男女計81名、第2回目が72名であり、総数で153名が参加しております。第1回目のパーティーでのカップル成立は13組、第2回目は9組となっております。



# 一般質問

# 医

## 療費の適正化対策は

町長 行政、町民、医療機関が一体となり医療費の抑制に努めます



細井 敬一 議員

### 本町の医療費の適正化対策を求める。

**問** 国保医療費の過去5年間の推移では、老人及び後期高齢者は11億9千900万円、町民全体では、14億5千600万円と大幅な増加である。今後の抑制対策を求める。

**町長** 集団健診等によるがん検診や特定保健指導等の実施、診療報酬明細書の点検・活用による疾病構造の

把握等の実施、さらに健康増進事業として健康相談、訪問指導等を推進しております。

**問** 2025年「団塊の世代」が後期高齢者に移行する時期での町医療費推計額を伺う。また、中長期的な医療費適正化対策を求める。後発医薬品の使用促進で町、患者の医薬費削減の取り組みを求める。

**町長** 2025年時点での町医療費の推計は約

169億円、後期高齢者医療費は約68億円となります。平成21年度の国保被保険者証の更新の際、ジェネリック医薬品希望カードを配布しており、広報紙には、ジェネリック医薬品について掲載をし、使用促進に努めているところであります。

**問** 町の死因別死亡数1位が「がん」。その中で、胃がんと結腸がんで42.3%を占める。「胃がん」撲滅に「ピロリ菌検診」は有効であり助成を求める。小中学校での「がん」教育の取り組みを伺う。

**町長** 早期にピロリ菌感染の有無を確認できるピロリ菌検診については、早期実施に向けて検討してまいりたい。子供たちのガン教育の取り組みは、先進地域での取り組みも参考にし今後検討していきたいかなければならない

と考えております。

### 期日前投票の改善を求める。

**問** 投票所での事務手続きの簡素化のため「宣誓書」の事前記入の改善を提案する。また、導入時期を伺う。

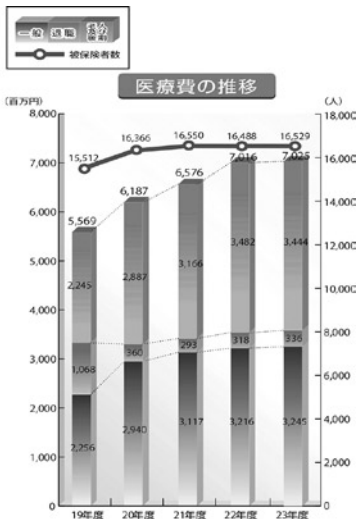
**総務部長** 宣誓書が印刷された投票所入場券を導入することによりまして、期日前投票者の利便性の向上及び精神的な負担軽減等に寄与するものと思われまます。平成27年4月の導入を目途に進めてまいりたいと考えております。

### 子どもたちの読書環境について伺う。

**問** 読書環境を整えるのは大人の責任である。読書環境充実の現状を伺う。

「セカンドブック」贈呈で良書に出会える事業を求める。

**教育次長** 現在子供の読書活動推進計画の策定を進めており、体制の整備、読書に触れる機会の提供に努め、好奇心を育て、豊かな感性をはぐくむことのできる環境に努めています。セカンドブックについては、先進地の例を参考にしながら今後検討してまいりたいと考えております。





# 一般質問

## 子

### 子ども・子育て支援新制度導入について

民生部長 子ども、子育て支援会議の中でニーズ調査を実施しています



小牧 敦子 議員

例制定については、今後調査研究してまいりたいと考えております。

#### 子ども・子育て支援新制度導入について

**問** 地域において公立保育園の役割はどのようなものか。

**民生部長** 地域のネットワークを通じて保育困難なケースなどへの対応を行い、

地域における子育て力の向上、子育て支援の充実を図っております。また、経験豊富な保育士がいることで、保護者の悩み事等にきめ細やかに対応することができると考えております。

**問** 幼保連携型認定こども園はどのような園なのか。又、町は移行を進めるのか。

**民生部長** 認可幼稚園と認可保育園とが連携して、一体的な運営を行うものであ

り、保護者の就労の有無にかかわらず同じ施設で学校教育法に基づく教育と長時間の保育が得られる施設となっております。

町の意向としては、現在、子ども・子育て支援会議の中でニーズ調査を実施していますが、その会議の中で、今後検討してまいりたいと考えております。

#### 支援の必要な子ども・若者への対策について

**問** 高校中退者はどれくらいか。

**教育長** 平成24年度の県内の高校中途退学者数は全日制では343人、定時制では181人、合計524人でございます。

**問** 発達障害児と保護者、学校の支援策として3才児検診相談に臨床心理士の活用とサポートファイルの導入を。

**民生部長** 3才児健診時に保育士を配置し、育児相談等を実施しております。また、発達障害等の疑いがある場合には、県の専門機関と連携をとり、支援してきたく所です。サポートファイルについては、個人情報を取扱うための十分な配慮も必要であることから、慎重に検討してまいりたいと考えております。

#### 自助・共助・公助で「道づくり」を

**問** 高齢化等により手入れが困難な生垣・果樹が増えている。ルールが必要では。

**建設部長** 民法上強制的に除去できないため、地権者またはその管理者に対して口頭や文書で指導の措置をとっておりますが、今後も同様の事案が多ければ、広報紙やホームページを通じて啓蒙を行うほか、道路愛護会などの協力を得ながら道

路環境の向上に努めてまいりたいと考えております。

**問** 悪質な園芸用土採取によって道路環境が悪化。条例等規制の必要性があるのでは。

**建設部長** 関係課と連携を取り、事業箇所周辺道路のパトロールを実施し、特に通学等におけるの安全を確保すると共に、道路を汚損・破損した場合の清掃、復旧など指導しています。道路環境保全のための条



高齢化が進み、生垣・果樹の管理が課題になっている「自助・共助・公助」地域ぐるみで道づくりをすすめたい。

# 一般質問

## 壬

### 生市を目指すために

#### 町長 魅力ある壬生市実現を目指してまいります



高山文雄 議員

#### 町長の所信を問う

**問** 壬生市をめざす町長、県1位の人口増加率の要因と展望は。

**町長** 都市計画税の課税ゼロ、保育料の軽減、デマンドタクシーの整備等を実施し、メディア等も活用し町の魅力を発信してまいりました。壬生町に住みたい、住んでよかった、そして住み続けたいと思える壬生町を実現し、人口5万人、魅力ある壬生市実現を目指し

ているところであります。

**問** 地域会議の成果と課題の検証を。会議のあり方、消防団員確保問題と再編は、六美北部土地整理事業と六美・吾妻線の早期実現は。

**町長** 地域が抱えている課題等を把握することができ、今後の各種事業の重要性や優先性を改めて見直す契機となりました。課題は、参加者に年齢的な偏りがあり、

多くの方が参加できるようにしてまいりたいと考えています。

**総務部長** 消防団員は現在203名確保できておりますので現状で安全、安心の地域を構築していきたい。  
**建設部長** 都市計画道路六美・吾妻線の道路は、県に対し強く要望しているところであります。

**問** 改革が進む介護保険事業の今後の行方は。対策が必要な介護予防と在宅介護、過度なサービスや低下を危惧する。

**町長** 今後新しい地域支援事業として要支援事業と介護予防事業を組み合わせた新しい総合事業に組み替えて実施をさせていただく方向となる見込みです。地域づくりの機能強化を図ってまいりたいと考えております。

**問** まちづくりは人づくり藩校開校開設三百年の本町教育の歴史文化の行方は。町無形文化財の現状把握を要望。太々神楽、保存と育成が急務。

**教育長** 平成21年度から学校教育の中に論語を取り入れてまいりました。迷ったときや悩んだときにはより良い道を選択しながら、より良く成長していつて欲しいという願いが込められています。  
**教育次長** 文化関係につきましては歴史民族資料館で当然把握をして今後の継続に向けやっております。

**問** 減反政策、TTPの行方。食農教育の推進を望む。

**町長** 今後も当町の基幹産業である園芸作物を中

心に六次産業化による高付加価値などこれまでの農業を進化、発展をさせ、農業者が明るい展望を持って生活が出来るような政策を進めていくことが重要だと考えております。



地域会議の様子(東小学校区)

# 一般質問

## 新

### 年度予算編成で児童の負担金軽減措置を

教育次長 今後総合的視野で検討してまいります



小 貫 暁 議員

#### 秘密保護法は認めない

**問** 安倍政権は反対世論を無視し強行成立させた。稀代の悪法は撤廃以外ない。本法に対し町長の認識を示せ。

**町長** 多くの国民が抱く不安や懸念が払拭をされるよう、法律や制度の詳細に関する国民への具体的な情報開示と、より丁寧な説明を求めるとともに、運用に際しましては国民の意見等を十分に尊重し、真に国と国

民の安全が確保されますよう慎重な対応をお願いしたいと考えております。

#### 六美地区下水整備計画は

**問** 進行中の雨水排水工事は後半になった。下水道整備と並行実施すれば経費節減になるが、計画を示せ。

**建設部長** 平成27年に区画整理予定区域、市街化調整区域を含める形で全体計画の見直しを行い、予定どお

り平成28年度から認可計画に計上したいと考えています。

#### みなし寡婦控除適用は

**問** 非婚のひとり親世帯は税制上寡婦控除がない。使用料・保育料等で不利益扱いだ。みなし寡婦控除で対処せよ。

#### 民生部長

県内では、現時点においては保育料算定での寡婦控除のみなし適用をしている市町はありません。本町ではほとんどの非婚母子家庭が住民税非課税世帯であることから、保育料は免除となっている状況です、今後状況を見ながら検討してまいります。

#### 子育て支援で少子化防止

**問** 教育費負担は少子化の要因だ。第二子以降の給食費無償化で子育て世代支援策を。

#### 教育次長

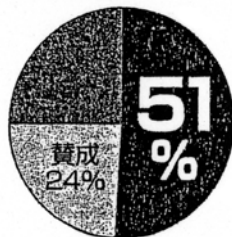
学校給食法では保護者が負担すると明記されていますが、今後、子育て支援事業を充実させる手段の一つとして、総合的視野で検討はしてまいります。

国会での議論は不十分



JNN 調査 (7, 8日実施)

秘密保護法に反対



「朝日」調査 (7日実施)

「知る権利」侵害に不安



NHK 調査 (6~8日実施)

国民は認めていない「特定秘密保護法」



# 一般質問

## 定

### 員超え放課後児童クラブへの対応は

民生部長 実情を調査中であり、結果を把握して対応します



議員 記 誠 合 落

#### 子育て支援の現状と課題を問う

**問** 放課後児童クラブで定員超の兆しがあるが、新設等対応は。

**民生部長** 現在、支援新制度に伴うニーズ調査を実施中であり、それらの結果を踏まえて平成26年度に子ども・子育て支援事業計画の策定を予定している事から、その中で検討してまいります。

**問** 町立保育園の待機や希望外入園等課題は。子ども発達支援センタードリームキッズのサービスの補完、拡充の見込みは。

**民生部長** 障がいの程度に応じた適切な指導及び訓練や保護者が障がいを受容し、主体的に子育てができるような多面的な支援の充実を図っていききたいと考えています。

#### 6次産業化の推進に農工商の連携を

**問** 農工商それぞれに向けたアプローチ、連携の展望は。

**経済部長** 壬生町産の農産物を利用した新たな商品開発に取り組んでいる町内企業に対し、町では栃木県産業振興センターと連携をして支援を行っています。

**問** みぶ菜を皮に、かんぴょうを具に使用した「ゆうがお餃子」で、ブランド推進を。

**経済部長** フードバレー事業等を活用しながら、栽培はもとより新商品開発も同時に行っており、本町のブランド推進にも生かしていきたいと考えています。

#### 住民生活の諸問題への対応を問う

**問** インター北通りの街灯の増設、鍋小路団地の雨水排水対策、いずみ団地東側道路のスピード超車両への対応は。

**建設部長** 道路照明設置基準等から、街灯の増設は防犯灯の設置が望ましいと考えており、今後、自治会の要望等を把握し、防犯灯設置の検討をまいります。

**問** 星の宮カントリーの樹木による枯れ木、日照等への対応、清掃センターへ材木等ゴミを持ち込んだ際の料金の適宜性を問う。

**民生部長** 星の宮カントリーでは、枯れた松の木については早急に伐採しますが、それ以外については近隣住民と話し合うという事

です。町としては管理者に適正な管理をしていただくようお願いしてまいります。ごみの持ち込みは条例に基づき徴収しておりますが、ごみ処理は住民生活において根幹をなすものであり、住民の理解と協力を得ながら清掃事業の推進に取り組んで参りたいと考えています。



六美北部の鍋小路団地の雨水排水対策等、住民生活の諸問題への対応が急がれる。

## 議案に対する賛否

※大島菊夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	市川義夫	鈴木理夫	榆井聰	落合誠記	佐藤善光	高山文雄	細井敬一	小貫暁
議案第1号	壬生町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第6号	壬生町下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第7号	壬生町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第8号	壬生町道路占用条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	壬生町営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合同約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合同約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県南公設地方卸売市場事務組合同約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成25年度壬生町一般会計補正予算（第3号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成25年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成25年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成25年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成25年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	新聞の軽減税率を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	特殊詐欺を撲滅し、町民生活の安全・安心を確保する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

多：賛成多数（可決） ○：賛成 ×：反対

## 議員研修会に参加

去る11月19日郡町村議会議長会  
研修会が栃木市で開催され、壬生  
町・野木町・岩舟町の議会議員が  
参加し熱心に研修を行いました。  
研修会では、下野新聞社編集局  
社会部 佐藤洋記者の「銀の靴を  
探して」と題する講演があり、地  
域の実情に合った仕組みを住民と  
連携し作ることが大切であると認  
識した研修でした。



佐藤 洋氏

## 視察来町

**福島県矢吹町議会が来町**  
去る11月26日、矢吹町議会の  
文教厚生常任委員会の皆さんが、  
行政視察のため壬生町を訪れ「  
総合型地域スポーツクラブの取  
り組みについて」及び「子育て支  
援施策について」の意見交換を  
行いました。



牛山久仁彦氏

去る11月27日、県町村議会議長会  
主催の議員研修会が宇都宮市で  
開催され、県内の町議会議員が  
参加しました。  
研修会では、明治大学政治経済学  
部 教授 牛山久仁彦氏の「これ  
からの議会の在り方について」、  
慶應義塾大学 法学部教授 小林  
良彰氏の「これからの日本の政治  
について」と題する講演があり、  
現状問題や今後の行方など熱  
心に研修しました。



## 表紙写真の説明

### 全8か所で地域会議を開催！

10月1日から約一ヶ月にわたり、  
壬生町内各地にて地域会議が  
開催されました。これは、各  
地に町長はじめ町の執行部が  
出向き、町の現状や政策につ  
いて町民の皆様と共に考える  
場です。本当に住みよいまち  
づくりを進める為には、行政  
と町民が車の両輪として共に  
まちづくりを携わり協働して  
いかなくてはなりません。我々  
議員もその橋渡しとなればと  
思っています。

田村 正敏

## 議会広報特別委員会

委員長	田村 正敏
副委員長	赤羽根信行
委員	河野辺恒雄
”	坂田 昇一
”	玉田 秀夫

## 編集後記

朝の冷え込みが厳しくなり、  
毎朝布団から抜け出すのが一  
苦勞です。それでも、早起き  
して外を眺めると、冷え切った  
澄んだ空気の中、日光連山の  
頂が白く見え、冬の到来を  
感じる事ができるこの頃です。

町議会におきましても、12  
月定例会より、議案審議を見  
直し、常任委員会に付託す  
る議案を増やしました。また、  
町民に開かれた議会を目指  
す一環として、今議会だより  
から、「住民にとって最も重  
要な案件」を紹介いたします。

さて、現広報委員による議  
会だよりの発行が、今回で最  
後に なります。見やすく、分  
かりやすく心をかけ務めてま  
いりました。新たな広報委員  
での次号のご愛読をお願いいた  
します。

(坂田昇一 記)

## お詫びと訂正

議会だよりNo.166号9頁、  
教育民生常任委員会の報告の  
内容について、誤りがありま  
した。お詫びして訂正いたしま  
す。  
誤) ターゲットバードゴルフ  
大会

正) グラウンドゴルフ大会